



# 大谷教師塾 教員養成ナビゲーター

大谷大学  
教職支援センター

第128号  
2021. 12. 1

## 3年生に聞きました 《こんな先生になりたい!》

《「子どもの苦手」を後押しできる先生》

教育学部・教育学科

二川 綾乃

私は、「子どもの苦手」をそのままにせず、後押しできる教師になりたい。

学校ボランティアで一年生児童が休み時間に「私、鉄棒苦手なの」と話してくれた。そこで私は「今から一緒に行こう」と誘い、楽しく鉄棒ができるようにたくさんほめて一緒に遊んだ。その子は今では鉄棒が好きになったと話してくれる。

これらの経験から、子どもが苦手をそのままにせず、一緒に取り組むことで好きになってくれるような後押しができる教師になりたい。

《児童を一人の人間として接する先生》

教育学部・教育学科

上田 里奈

私は児童の声に耳を傾けられる先生になりたい。「児童」と聞くと「相手が子どもだから…」と思われることが多く、同じ立場で話を聞くということがなかなか難しい。そんな児童の立場に立つという事が教師をするうえで必要だと思う。児童が何かを伝える際に教師が自分の解釈だけで聞くことになると、児童は自分の話をしっかり理解してくれないと思うかもしれない。その結果信頼を失ってしまう。だからこそ、児童の立場に立ち児童の事を子どもだと思わず一人の人間として接していきたい。

《愛情と熱意に溢れた先生》

教育学部・教育学科

山崎 奨真

私が目指す教師像を一言で表すなら、恩師がそうであったように愛情と熱意に溢れた教師だ。日々、子どもと向き合い多様な個性を理解し、見極め伸ばすことのできる教師になりたい。誰からも頼りにされる一人の人間でありつつ、楽しい時や辛い時どんなときでも互いに手を取り合うことができる、そして児童一人一人が輝くことのできる土台を作る教師を目指す。

《児童の目線に立ち気配りのできる先生》

教育学部・教育学科

辻中 智貴

私は、児童の目線に立ち気配りのできる教師を目指している。

私は小学校6年生の時に素晴らしい教師と出会った。その教師は児童一人一人との距離が近く親切でクラスの全員がその教師を信頼していた。授業の雰囲気がとても良く、楽しくかつ学びのあるものだった。私もこの教師のように誰からも頼りにされ、児童の気持ちを大切にできる教師になりたい。児童一人一人にしっかりと寄り添い、児童の目線に立てる、そんな教師を目指している。

## 《SOSを見逃さない先生》

教育学部・教育学科

花城 萌香

私は、児童からのSOSを見逃さない先生になりたい。私は6年生の時に人間関係の面で悩み、学校が楽しくないと感じたとき、担任の先生が気遣って話を聞いてくれた。私はその際に、先生への感謝と尊敬の気持ちを持った。

学年が上がっていくにつれ、男女問わずにたくさん悩みも出てくる。その悩みに対して素早く気づき、解決まで導くことができるように、児童一人一人をよく見て、毎日笑顔があふれる学級を作りたい。

## 《子どもと共に学び、学び続ける先生》

教育学部・教育学科

植坂 喜代

私は、子どもと共に学び、学びを楽しむ先生になりたい。私は子どもの頃から勉強が嫌いで楽しくなかった。勉強は辛いものだと思っていた。しかし、大きくなるにつれ学ぶことの楽しさを知った。先生が学びを楽しむことで子どもも勉強を楽しむことができるのではないかと思う。私は先生になってからも、教科のこと子どものことなど様々なことを学びたい。そして子どもたちと一緒にたくさんの学びを楽しみたい。

## 《学力と探究心を兼ね備えた先生》

教育学部・教育学科

渡邊 彩音

私の夢は、学力と探究心を兼ね備えた小学校教員になることだ。

今、この社会は激動の中にある。日々の大学生活やボランティア活動を通して私自身が受けてきた学校教育を全く同じ形で還元できたとしても、未知の未来を生きていく子どもたちに必要な力を育成することはできない。変わりゆく時代を生き抜く子どもたち一人一人が、自らの未来を切り拓けるように、学び続ける教員でありたい。

## 《児童が安心できる場を作れる先生》

教育学部・教育学科

辻 杏奈

私は児童が安心できる場を作ることができる先生になりたい。

中学生の頃、生徒会・部活動・国語の授業でお世話になった先生が、人間関係や学習等の多くの悩みを私が抱えている時に気づき、相談にのってくださった。当時の私にとって、その先生は心の支えになった。

この経験をもとに、「悩みを共に考え、相談がしやすい」「誰も見捨てられず、取り残されない」そんな安心した場をつくることのできる先生になりたい。

## 《会うと元気が出る先生》

教育学部・教育学科

橋村 有美

私は、小学校4年生の時に会った担任の先生がきっかけで教師を目指している。この先生に出会い、私は小学校が大好きになった。毎日学校に行くことが楽しくて楽しくて仕方なく、先生に話す内容を前日から決めているほどだった。このように、児童から「先生に会うと元気が出る」「毎日学校に行くことが楽しい」そう思ってもらえるようなパワフルで元気な明るい教師になりたい。

## 《「翻訳力」を持った教師》

文学部・文学科 横山 和歌那

「誰も取りこぼさない、落としこぼさない」と言ったのは私の恩師だった。その言葉は、私の胸を強く打ち、今では私の理想の教師像を体現する言葉となっている。どの子どもも大切にされ安息の場が用意されなければならない。その一つの場所に学校がある。生徒の一人が「疲れた」と何気なく言ったとき、その言葉の背景まで思考して、「疲れた」の中に助けを求める気持ちが潜んでいるのではないかと耳を傾ける。そんな「翻訳力」を持った教師になりたい。「自分は守られている」と安心を与えられる、そんな教師になりたい。

## 《「理想」に向けて取り組み続ける教師》

文学部・文学科 藤原 心

少し前の、「私の理想の教師像」は、「生徒のことを守り切る教師」であり、「この先生が応援してくれるのだから頑張ろう」と生徒が思ってくれるような尊敬される教師になりたいと考えていた。

しかし最近は、考えが少しずつ変わりつつある。「理想」のとらえ方を「最も良い状態」とか「行動の目標」という意味だけに限定してしまうと、それを達成することだけを目的にしてしまうのではないかと考えたからだ。

「理想」を否定しているのではないが、せまい意味の「理想」という言葉だけにとらわれず、決して中途半端ではなく「少し肩の力を抜き、柔らかさと広い視野も持ちながら「理想」に向けて取り組み続ける教師」になりたい。

## 《学び、悩み続ける先生》

文学部・哲学科 竹下 和威

ドイツの哲学者で有名なショーペンハウエルの言葉に「誰もが自分の視野の限界を世界の視野の限界だと思っている」がある。目に見えるものすべてが真実ではないことを表している。

世界史の教科書を完璧に理解すれば世界を理解したことになるのだろうか。そんなことはないはずだ。教科書を仮に全て理解したとしても、こんなちっぽけなものさしにしかならないのかと生徒に知ってほしい。それは当に「無知の知」に外ならない。その自覚は先の学びにつながり、より善い生き方（エウゼーン）でもある。私の学び、悩む姿を見て、生徒が追いかけてくれればと願う。

## 《積極的に学びたいと思える授業ができる教師》

社会学部・コミュニティデザイン学科 舘野 芽生

私は、生徒たちが楽しく学び、積極的に学びたいと思える授業ができる教師になりたい。

私自身、大学で学ぶ中で理解を深め、点であった知識が線に、面になっていくことで学ぶことが楽しいと感じた。また、模擬授業を通して授業する側を経験し生徒の興味を引く授業を考えるのが楽しいと感じた。私はこれからも様々な知識を身に付け、たくさんのことを経験し、生徒たちが楽しく学びを深められる授業ができる教師になりたい。そして生徒たちと共に学び、共に成長し続けられる教師になりたい。

## 《理想の教師像》

本号では教職を目指す3年生から募集した「こんな先生になりたい」の原稿を掲載しました。その内容はいわゆる「理想の教師像」であり、採用試験の面接でよく聞かれる質問の一つです。単に「先生になりたい」というだけでなく、「どんな先生になりたいか」について考えることは、教職についてより深く考えることにつながり、とても大切なことです。ちなみに、「教職を目指す理由は?」「本自治体の受験理由は?」「あなたのアピールポイントは?」などが面接試験における定番の質問となっています。



## 《教職を目指す皆さんへ》

### 【1, 2年生へ】

10月から実施している「教職学習会」には忙しい中、たくさん参加してくれています。この学習会は、皆さんにとって必要な情報を学年に応じてわかりやすく提供することで、教職への道をガイドすることを一つのねらいとしています。小中学校で校長を経験してきたアドバイザーが学校現場の様子や教員採用試験の実態等について紹介して、進路選択の参考として、また教員採用試験への見通しをもつ材料として活用してくれることを願っています。

【今後の教職学習会の予定】		1年生	第3回	12月22日(水)	5限 (16:20~17:50)
			第4回	来年1月19日(水)	5限 (16:20~17:50)
	2年生	第3回		12月8日(水)	5限 (16:20~17:50)
		第4回		来年1月12日(水)	5限 (16:20~17:50)

### 【3年生へ】

9月の「教員受験対策講習3」「願書記入説明会」、10~11月の「小論文短期セミナー」を通して、皆さんの教職への熱い思いを感じています。さらに継続して、アドバイザーに相談に来る3年生が数多く見られて、我々もその思いに応えるべく様々な資料等を用意しているところです。

論作文の添削や面接練習なども常時受け付けています。今後もし細な内容でも遠慮なく来てください。

### 【4年生へ】

一生懸命取り組んだ採用試験を終えて数か月。今は卒業論文等の制作に取り組むとともに残り少なくなった大学生活を満喫していることでしょうか。合格した人は未だ「名簿登載者」であり「内定」に過ぎないという意識をもって日々、研鑽に励んでください。また、残念ながら希望が叶わなかった人は、結果はともかく努力したことは必ず力になっています。自信と誇りをもって捲土重来を期してください。

皆さんの卒業後の新生活が素晴らしいものになることを祈っています。



## 《教員採用試験結果速報【公立学校】》

校種	名簿登載者 合計	内訳 (自治体・教科等)
小学校	19人	滋賀県6, 京都市3, 京都府2, 和歌山県2, 大分県1 大阪府1, 鳥取県1, 富山県1, 福岡県1, 横浜市1
中学校	4人	神奈川県1 (国語科), 滋賀県1 (国語科) 富山県1 (国語科), 奈良県1 (英語科)
高等学校	2人	大阪府2 (国語科)